

し、孤独死という問題、高齢者入所施設や通所施設の整備、相談支援事業や医療制度の活用など様々な取り組みの必要性などを列挙され、提言者の方々の地域での活動を紹介されました。

障がいを持った人たちが年を取って親がいなくなっても安心して地域の中で暮らすことができるような環境を作るために、地域の人々の理解を求め協力してくれるように私たちが最前線で動かなければいけないと思いました。

~~~~~

**◆第5分科会 権利擁護と家族支援に参加して  
都島区支部 大野 千津子**

211名の参加の中、吉川かおり氏をコーディネーターとして始まり、基調講演は全日本手をつなぐ育成会の中央相談支援室長である細川瑞子氏より権利擁護について「社会自立支援と家族支援」を切り口に一緒に考えたいと第一声がありました。その中で「自己決定することが自立である」の主張もあるが、本人の社会自立とは、社会が知的障がい者を一人の人格として認め受け入れることが自立の第一歩であること。当初は就業等による経済的なことや訓練等により何でも自分でできるようになり、そして必要な手助けを得て自立すると考えられていた。しかし、意思決定支援については、判断能力が不十分な人に「いったい誰が、そのような権限で支援するのか?」、「支援の質をどう担保するのか?保証は?」等々の問題が多くあります。障害者虐待防止法の必要性については、本人にとって有害であれば、虐待になる事を理解しなければならない。また、被害から救っただけでは障がい者は暮らしてはいけないので、必要な支援を考えるべきであるといったご意見でした。

提言者の松井美弥子氏からは全日本育成会としての成年後見の取り組みについて話されました。被選挙権回復の取り組みに関して、成年後見制度を利用した成年被後見人の選挙権剥奪について、公職選挙法の改正を求めて署名活動、請願書の提出、選挙権回復を求めての裁判傍聴をすることで応援してきたことを報告されました。また、親の高齢化の加速と成年後見センターの必要性についても話されました。

続いて、長崎県地域生活支援センター所長の伊豆丸剛史氏からは、長崎県地域生活支援センターは障がい者が刑務所を出た後の支援センターで、同じ機能を持ったセンターは都道府県に1か所ずつあることを話されました。センターに来られる方は、人として生きる権利を無くしていた刑罰を受けた人で、その方も人として生きる権利を持っていると話されました。皆さん

どこへも行くあてが無いので刑務所を出所するのが怖く、社会で生きていくより刑務所の中が安心だったと訴えるとの事でした。センターでは、そのような方を県外でも迎えに行くそうです。社会では罪を犯す前から社会から排除されている人たちが多くいる事を話されました。

最後に広島県手をつなぐ育成会の副会長である金子真由美氏からは、家族支援、障害認識プロジェクトを活用した広島での取り組みについてお話しがあり、ワークショップを続けることで若い世代の会員の増加が見られたとの報告がありました。

10月1日に障害者虐待防止法が施行されたこともあり、当事者の権利擁護が改めて大切である事を感じた分科会でした。

~~~~~

**◆第6分科会 育成会のこれからの10年・ビジョン
とプラン、被災地支援の現状(親の会)に参加して
西区支部 笹野井 庸夫**

第6分科会に参加し、基調講演では全日本手をつなぐ育成会の田中常務理事より障害者総合支援法についての解説がありました。障害者総合支援法の検討課題としての6項目(①常時要介護者の支援、移動支援、就労支援等のあり方。②障がい者の意思決定支援のあり方。③支援区分を含む支給決定のあり方。④成年後見制度の利用促進のあり方。⑤精神障がい、高齢障がい者の支援のあり方。⑥意思疎通障害者の支援のあり方)について法施行後3年を目途に検討していく。また、これからの育成会活動として、障がい者制度改革の目的は「共生社会」の実現で、誰もが安心して住める地域社会の構築に育成会としての活動を発展させ、その必要性について組織を挙げて課題を洗い出し、結果を国や国会に対して提言をしていくと話されました。また、同法の中でも強調された意思決定支援は、まだ明確な定義がされておらず、法定化された大切な支援だけに積極的に議論を行っていくことの重要性を強調されました。

次に行われましたシンポジウムでは、まず、全日本手をつなぐ育成会の片桐副理事長から育成会のこれからの10年のビジョンとプランについて提言がありました。これまでの育成会活動は知的障がい児、者のニーズを実現するための制度や施策要求が主流でしたが、21世紀は「共生と人権の世紀」と言われており、障害者権利条約も各種制度改革も「共生社会」の実現を目指しています。そのためにも育成会も「受動的」から「能動的」な活動への転換が前提であるとの事でした。次に事業所協議会の白杉運営委員